

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画道路3・5・23号江戸川台駒木線道路改良事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	08	04	05	02	54
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課					
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	石井 菊次					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民や利用者の安全及び利便性の向上を図る。
事業内容	新市街地地区と駒木地区を結ぶ路線であり、地域住民の安全性と利便性の向上を図るために、道路新設整備を実施する。延長L=50m			
事業開始から現在までの状況変化	本路線は、新市街地地区の区画整理地区外箇所であり、接続箇所の整備を行うことにより、地域住民の利便性の向上を図られる。延長50m、幅員16mについて平成29年度から事業化し、測量委託及び道路詳細設計委託を行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率			6.80	%	↑↑↑	4,222,800円/62,094,000円 (執行済額/全体事業費)
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 用地取得に向け事前準備を行った。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				7,578,800				
事業費(b)(円)				4,222,800				
うち一般財源				372,800				
職員給与費(c)(円)				3,356,000				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	国庫補助金を含めた予算の確保が課題となる。
②今年度(H29)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後(H30以降)の改善計画	円滑な用地取得の完了を目指し、早期の工事着手に努める。